

JCI JAPAN TOYP エントリーシート



性別	女		
ふりがな	たかの さつき		
氏名	高野 沙月		
所属企業・団体名	株式会社Fant	所属企業・団体役職	代表 高野 沙月
活動カテゴリー	<input checked="" type="checkbox"/> ビジネス、経済、起業 <input type="checkbox"/> 学術 <input checked="" type="checkbox"/> 文化 <input checked="" type="checkbox"/> 倫理、環境 <input type="checkbox"/> 青少年育成、世界平和、人権 <input type="checkbox"/> ボランティア <input type="checkbox"/> 科学技術 <input type="checkbox"/> 自己啓発 <input type="checkbox"/> 政治、法律 <input type="checkbox"/> 医療革新 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
活動エリア及び活動内容 (200文字以内)	<input checked="" type="checkbox"/> 活動エリア:北海道 <input checked="" type="checkbox"/> 活動内容:全国のハンターが交流するためのWEBサービス『Fant』、飲食店からハンターにジビエのオーダーができるWEBサービス『ギルド肉project』の運営。『Fant』には全国のハンター1,000人以上が登録し狩猟の情報を交換している。『ギルド肉』では、札幌のミシュラン店等から、登録ハンターへジビエのオーダーが行われ、マガモやエゾライチョウなどレアなジビエも流通している。		
質問① (200文字以内)	Q1. この活動を通してどのような未来を実現したいと思っていますか (ビジョン) 日本には約20万人以上のハンターがいます。高齢化し減少しているイメージがあるハンターですが、実は2012年頃から高齢者が減る一方で20代~30代のハンターが増えています。ハンター人口全体も増加傾向にあります。株式会社Fantは、増加している若年層のハンターが楽しく安全に活動でき、狩猟でマネタイズできる環境を整えることで、日本の狩猟文化の健全な発展と継承を目指しています。		
質問② (200文字以内)	Q2. 未来を実現するために今行っている具体的な活動をお答えください (アクション) 古くからある狩猟業界の体質や属人的に行われている技術や知識の共有の方法が障壁となり、狩猟免許を取得したものの活躍できていない若手のハンターが多く存在しています。『Fant』はそのような課題を解決するために開発したサービスです。さらに昨年公開した『ギルド肉project』を活用し、飲食店とハンターを繋ぐことで、若手ハンターの狩猟によるマネタイズに貢献しています。		
質問③	Q3. あなたの行っている活動は社会にどのような影響を与えていますか (インパクト) 『Fant』公開から、yahoo!ニュースやTVや新聞など数々のメディアから注目を受け、全国から1,000人以上のハンターが『Fant』に登録し、「いつ・どこで・何を捕獲したのか」等の情報を交換しています。『ギルド肉project』では、道内外からジビエの注文を受け、道内のフランス料理店シェフからは「市場に出回りにくい地元のカモなどのジビエを購入できる」と好評いただいています。		
経歴 自己PR	1990年、北海道音更町出身。2013~2016年、東京のデザイン会社でデザイナーとして勤務する。2016年、ジビエ料理に出会いその美味しさに感動し、狩猟免許・猟銃の所持許可を取得。北海道にUターンして狩猟をするなかで、旧態依然とした狩猟業界の体質や日本のジビエの利活用率の低さを改善したいという思いから、2019年に株式会社Fantを設立。2022年J-Startup HOKKAIDOに認定。		
活動内容写真	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">   </div>		